

事業所名		鴻巣市立つつみ学園				支援プログラム				作成日		7	年	1	月	8	日				
つつみ学園理念		子どもの興味や特性、発達段階に寄り添いながら「自分らしく」、園生活を「楽しく」過ごせるように支援する																			
支援方針		・就学前に身につけておきたい基本的な生活習慣の自立を目指してできることを増やす支援をする ・園生活を通してあいさつなどの社会性や人との関わり方を身につける																			
療育時間		9		時	30		分から	15		時	00		分まで	送迎実施の有無		あり		(所定のバス停)		なし	
		支 援 内 容																			
本人支援	健康・生活	☆健康状態の把握を行い、食事・着脱・排泄等生活に必要な基本的な生活習慣を獲得し、生活リズムを身につけられるように支援します。 食事：園での手作り給食・おやつを提供し、自分で食べる。偏食を軽減する。咀嚼嚥下や食具の使用、着席して食事をする。 排泄：トイレで排泄する。尿意・便意を伝える。拭き取りや自宅以外のトイレの使用など 着替え：自分で脱ぐ着る（衣服の前後・ボタン・ファスナー・靴下など）、衣服の調節 その他：清潔の意識（手洗い・うがい・鼻かみ等）、水分補給、午睡																			
	運動・感覚	☆姿勢と運動、動作などの運動機能の向上と体の感覚・感触・におい・音などを感じ五感の活用を育む支援をします。 エアートランポリンやローリングシーソー、太鼓橋などの感覚統合遊びを通して姿勢保持やバランス感覚の向上を促していく。 水・砂・粘土・のり等の感触遊びを通して、五感を育む。感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。																			
	認知・行動	☆視覚・聴覚・触覚等の感覚を活用し、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援や環境から情報を収集して行動に繋げるように支援をします。 大小、数量、色、文字等の概念の形成を図り、認知や行動に活用できるように支援をする。 興味の偏りやこだわり、落ち着きへの対応（着席・注視）を支援していく。「できた！」の成功体験を積めるような支援をする。																			
	言語 コミュニケーション	☆人に伝えようとする意欲の向上を大切にし、言葉や望ましい表現方法（発声・身振り）を伝えて、コミュニケーション能力の向上を支援します。 視線、指差し、サイン、カード（絵や写真）などを合わせて、言語の受容と表出、状況に応じたコミュニケーションが自分らしく取れるように支援する。 思いや気持ちの表出はすべての園生活で想定されており、望ましくない言動はその場で望ましい言動を伝え、要求だけでなく拒否の気持ちを伝えられるよう丁寧に関わります。																			
	人間関係 社会性	☆アタッチメント（愛着）の形成と安定、遊びを通じた社会性の発達や対人関係の芽生えを支援します。 人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を基盤として周囲の人と安定した関係を形成するための支援をする。 遊びを通じて人の動きを模倣することにより社会性や対人関係の芽生えを促し、お集まりや集団遊びのルールや順番など社会性を育み集団活動に参加できるように支援する。																			
家族支援		・親子教室時等の支援場面を通じ、支援の理解を深める機会の提供 ・個別支援計画の説明などの面談時に子どもの成長を共感したり、子育て（本人・きょうだい）に関する困りごとを話せる機会の提供										移行支援		・移行先（幼稚園や保育所、学校や放課後等デイサービス等）との引継や情報共有等 ・交流保育							
地域支援・地域連携		・幼稚園や保育所、他の児童発達支援事業所等との連携 公立保育所の巡回報告会、見学会、情報交換など 自立支援協議会への参加										職員の質の向上		・外部講演会・研修会等の参加 ・臨床発達心理士などによる勉強会							
主な行事等		【園行事】《毎月》音楽療法、身体測定、誕生会、避難訓練《定期》健康診断、定期健診、交流保育《季節》プール、夏祭り、芋掘り、みかん狩り、クリスマス会、豆まき、雛祭り等 【親子】つくしんぼ教室（月2回）、発達療育、言語療育、運動会、発表会、親子観劇会、卒園式、歯科健診（年2回）＊つくしんぼ教室で交通安全や消防署立会い避難訓練、餅つき等を開催																			